

(別紙)

令和元年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名:循環型社会に貢献できる産業人材育成事業(古川工業高校)

事業実施期間:平成20年度から令和元年度

担当課室名:高校教育課

担当班名 キャリア教育班 TEL: 3625

e-mail ko-nou@pref.miyagi.lg.jp

1 事業の目的

産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた、循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成する。また、廃棄物の発生抑制や、リサイクル産業の振興並びに循環型社会について、専門高校生として取り組むことのできる実践や基礎的研究を各関係団体からの支援を受け行う。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

『解体木造建築物の構造材再利用促進の基礎的研究事業』

解体予定の木造建築物の部材を採取し、再利用可能な材料の補強方法を研究しながら、規格材として加工し、木工機械を活用した製作を行った。特に本校入学前に東日本大震災を経験した生徒(当時小学3年生)の考えを反映させ、避難所などで活用できる物品、また地域からの要望に応える3R啓発活動、木工製品の製作・補修、部活動使用物品の製作・設置などを行った。

事業取り組みに際して、宮城県建設業協会、地元の大工、木工建具職人、設計士と連携し、専門的知識の学習と作業体験及び技術・技能指導を受けた。

産業廃棄物の処理状況等現場見学と、専門講師の指導による設計・製作工程を通じた実践的学習で、地球環境に配慮した今後の産業活動に関与できる人材の育成に努めた。

○避難所内での活用を考えた簡易間仕切り(スクリーンパネル)の製作【縦タイプ10枚】

○大崎観光公社からの依頼による「街角ピアノ」プロジェクトへの参加

(解体木材を利用した移動式ステージの設計・製作、廃校となった小学校のピアノ再活用)

○職員室等で使用する木製棚の設計・製作【2台】

○校内に設置されている木製イスの補修【3台】

○校内に設置されている木製テーブルの再塗装【1台】

○部活動で使用する名札掛けの製作【1台】剣道部用

○木製玩具の製作・提供【積み木セット20個】

○端材を活用した木製ストラップ【150個】

○大崎市主催の地域イベントへのボランティア参加

○加工段階で出るカンナくず利用(県農業高校・加美農業高校へ家畜の敷きわら材として提供)

3 当該年度の実施事業の成果

○柱換算(105mm角)にして約20本分の廃材を再使用・再利用することができた。

○みやぎ大崎観光公社から依頼のあった、使用されなくなったピアノの再活用と地域の賑わい創出企画である「街角ピアノ」設置プロジェクトに参加し、低コストでのピアノ台設置と黒いピアノへの塗装技能を習得することができた。

○小さな廃材を活用した木製玩具を製作し、地域イベントに参加した。木製ストラップは、オープンキャンパスに参加した中学生にプレゼントし、3R活動の啓蒙を行った。

○現場見学と専門的講師からの指導による実践的学習を通じ、地球環境に配慮した今後の産業生産活動に関与できる人材の育成を図ることができた。

○地域の建設廃棄物処理企業や設計士、大工、木工職人との連携・協力体制が構築できた。

4 今後の展開

○各種団体や地域企業と構築した連携・協力体制を活用して、継続的な人材育成を図りながら、解体材料の提供や各種現場見学・実習場所等の確保に努める。

○生徒のアンケート結果から、学習の理解・定着については良好であるが、持続可能な循環型社会の

構築への実践については認知度が低いことから、更に、授業を通し啓蒙活動を実践していく。

○今後も廃材を活用して製作した簡易間仕切り・木工家具を、地域防災に役立てるために各種団体（町内会など）や教育機関（中学校・小学校・幼稚園・保育園など）に寄付し活用していただけるよう関係機関と調整し、要望を精査し製作可能なものを提供していく。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：関連授業時数)

単位：時間

20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
268	340	245	震災	249	250	284	293	282	297	302	322

6 事業費の推移

単位：千円

20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
7,221	3,096	3,011	震災	2,851	2,955	2,674	2,665	2,675	2,646	2,544	2,838